

計算リソースについて

経済産業省 商務情報政策局

本事業実施のために確保する計算リソースは、NVIDIA 社製 H100 GPU を 8 基、GPU メモリを計 640GB、ローカル SSD を 20TB 以上、インジェクションバンド幅 3.2Tbps 相当のインターコネクト、を搭載した GPU サーバー（以下、「GPU ノード」という）、および付随するサーバー、ネットワーク、ストレージサービス等の形態で提供されます。

今回の公募では、この計算リソースの提供はノード単位で行うこととし、また、計算リソース量に上限があることから、一社あたりに提供する GPU ノード数を「60 以下」とします。なお、事業期間を通して使用する GPU ノード数は一定であることとします。また、60 ノードを超えて計算リソースを利用して開発を実施することは妨げないが、それについては、基本的に、助成の対象外となります。

なお、審査の際は計算リソースが適切かつ効率的に利用されるかについても審査するところ、提案する GPU ノード数に関して、徒に過大なノード数とするのでは無く、60 を超えない範囲において、自社の開発内容に照らして適切なノード数としてください。

公募要領 2. (3)にあるとおり、本事業の事業期間は 3 ヶ月程度です。計算リソースの提供事業者との契約締結や開発環境の構築等の事前準備に約 1 週間要することから、実際の計算リソース利用期間が 2 ヶ月 3 週間程度（事業期間の内数）となる場合があることに留意してください。

計算リソースを提供するクラウドベンダーは以下のとおりとします。

提供クラウドベンダー/GPU ノードの種類：Microsoft/Azure VM ND96isr_H100_v5 (※)

参考：<https://learn.microsoft.com/en-us/azure/virtual-machines/nd-h100-v5-series>

(※) ただし、場合によっては異なるクラウドベンダーのサービスを利用いただく可能性があります。

提案書の記入にあたって使用する仮単価（GPU ノード以外の計算リソースに係る費用等として、GPU ノードの想定費用に 10 パーセントを上乗せした、ノードあたりの単価）については、本公募に申請を検討する事業者へ個別にお伝えするので、「(連絡先)」に記載の宛先に連絡をお願いします。

なお、使用の有無に関わらず、提供された GPU ノードの計算リソース利用期間全体に対して費用が発生する点に留意ください（使用した量に応じて費用が発生する従量課金制ではありません）。

(参考) 採択時における補助対象経費の上限額の決定方法

補助対象経費の上限額は、原則として、計算リソースの本単価（GPU ノードの実勢価格に 10 パーセントを上乗せしたノードあたりの単価）と計算リソースの数量（GPU ノード数）の積で算出する。

ただ、本公募に対して、確保・提供される計算リソース量を超えて利用する計画を申請する場合で、以下の計算式で算定された金額（Y）が補助対象経費の上限額を下回る場合には、その価格（Y）を補助対象経費の上限額とする。

$$Y = X \times \frac{m \times t}{M \times T}$$

X : 実際の契約額

M : 契約上の計算リソースの数量 T : 契約上の計算リソースの利用期間

m : 提供する GPU ノードの数量 t : 提供する GPU ノードの利用期間

なお、 M については、H100 以外の GPU も併せて使用する場合には、計算能力に応じた適切な換算値を用いて、H100 相当の GPU のノード数に換算した上で算出します。

(参考) 今回の公募に応募可能／不可能な計算リソース提供の例

- ・応募可能な場合：計算リソース利用期間を通して、利用する GPU ノードが 30 ノード。
- ・応募不可能な場合 1：計算リソース利用期間のうち、前半 1 ヶ月で利用する GPU ノードが 30 ノード。(それ以降は計算リソースは用いない。)
- ・応募不可能な場合 2：計算リソース利用期間のうち、前半 1 ヶ月で利用する GPU ノードが 30 ノード、それ以降で利用する GPU ノードが 40 ノード。

(連絡先) 仮単価に関する連絡先

商務情報政策局 情報産業課
ソフトウェア・情報サービス戦略室
担当：杉之尾、古賀

メールアドレス：[bzl-geniac★meti.go.jp](mailto:bzl-geniac@meti.go.jp)

※「★」を「@」に替えて送付してください。

※連絡の際は事業者名、担当者名、連絡先（電話番号・メールアドレス）を記載してください。

以上